



公益財団法人 長崎平和推進協会
<https://www.peace-wing-n.or.jp>

- 公益財団法人 長崎平和推進協会 令和元年度 事業報告
- 新型コロナウイルス感染症の拡大と(公財)長崎平和推進協会の取り組み
- 新たに選任された理事・監事・評議員のご紹介 ■被爆75年 平和関連行事のご紹介
- 被爆75年 体験継承への取り組み ■「夏の雲は忘れない」観覧者募集
- 企画募集！アジア青年平和交流事業「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」
- 会員の広場 ■TOPICS！



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休館となった追悼平和祈念館
6月1日に再び開館しました



核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指し、皆さまのご協力をいただきながら様々な取り組みを行いました。

②啓発事業 4,779,383 円

被爆体験講話者の派遣



修学旅行団体や自治体等からの依頼を受け、長崎県内外に被爆者を派遣し、被爆体験講話を実施した。

令和2年2月中旬から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講話の延期やキャンセルが相次いだ。

講話実績 1,168 件 (140,203 人)
・小学校 539 件 ・中学校 336 件
・高校 210 件 ・一般 83 件

【県外自治体等への派遣】

千葉県浦安市、神奈川県藤沢市、新潟県柏崎市、大阪府八尾市、須磨学園中学校、宮崎県日向市、鹿児島大学

【長崎県主催事業からの派遣依頼】

大村市、平戸市、対馬市、西海市、南島原市、川棚町、佐々町
(県外大学) 九州大学、佐賀大学

県外原爆展の運営 新



県外の方々へ原爆の悲惨さや平和の大切さを伝えるため、被爆体験講話の実施や被災写真・資料等を展示する「県外原爆展」を運営した。

和歌山県有田市、山口県柳井市、徳島県徳島市

国連軍縮週間行事

「市民のつどい」

10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせて「市民のつどい」を開催し、戦時食やエコ風船、折り鶴コーナーなどで、来場者に戦時中の生活などを体験し、平和について改めて考える機会を提供した。

開催日 10月26日
場 所 原爆資料館階段下広場

講演会の開催



世界恒久平和への認識を深めてもらうため、講演会を実施した。また「ナガサキ-核戦争後の人生」日本語版出版を記念したイベントも開催した。

「戦争と演芸 (へいわ)」
開催日 7月17日
スーザン・サザードさんと語る
「朗読会と家族の思い出」
開催日 11月9日

原爆被災写真パネル・DVD (ビデオ) の貸出

修学旅行等の事前学習や写真展等の開催を目的に、貸し出しを行った。

写真パネル : 18 件
DVD (ビデオ) : 152 本

③発刊事業 1,483,993 円

会報「へいわ」(年4回)、協会の事業概要をまとめた「平和のあゆみ」(年1回)、情報BOX(月1回)の発行、会員勧誘リーフレットを作成した。LINE 公式アカウントではイベント等の情報発信を行った(月4回)。



④調査研究 51,602 円

広島市で開催された「国際平和シンポジウム」などに協会役員及び職員を派遣し、情報収集や交流・意見交換を行った。

⑤その他費用 30,845,992 円

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 経常費用 246,265,648 円

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、平成15年に開館した追悼平和祈念館の管理・運営や、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を実施した。

実施した事業：遺影の登録、証言等の収集・映像制作、海外原爆展、被爆体験朗読ボランティア、ピースネット、平和ボランティア育成外国語講座、Nagasaki Love & Peace Message など

長崎原爆資料館運営事業 経常費用 8,226,606 円

8月31日で終了

長崎市から原爆資料館の観覧料徴収及び受付案内の業務を受託し、世界中から原爆資料館を訪れる人々に核兵器の脅威を広く伝え、教科の目的である平和推進に取り組んだ。原爆資料館等の指定管理者制度導入に伴い、業務の受託を終了した。

長崎原爆資料館図書資料整理事業 経常費用 2,153,215 円

8月31日で終了

長崎市から原爆資料館図書室における資料収集整理業務を受託し、専任の司書を配置して原爆・平和に関する図書資料の整理・選定、情報発信を行うことにより、協会の目的である平和推進に取り組んだ。指定管理者制度導入に伴い、業務の受託を終了した。



平和推進事業 経常費用 50,930,549円 (①+②+③+④+⑤)

①育成事業 13,769,579円

平和案内人の派遣

原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行う平和案内人の派遣を行い、第1期～第6期生が活動した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日より活動を休止した。

【平和案内人利用者数】
 原爆資料館常駐 8,999人
 原爆資料館予約 2,234人
 碑めぐり予約 8,704人
 (合計 19,937人)



平和案内人の育成

被爆75年となる令和2年5月からの活動を目指し、第7期平和案内人育成講座を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第13～15回の講座を令和2年度へ延期し、修了・活動開始時期を変更した。

【第7期平和案内人育成講座】 ※期間は当初の予定
 期間 11月23日～3月10日 (2月29日以降は延期)
 応募者数 39人

アジア青年平和交流事業

県内の大学生2チームから応募された企画を審査し、認定した事業を業務委託して若者自身が取り組んで実施した。

【認定事業】
 長崎県立大学シーボルト校 金村ゼミ
 「Peace Piece プロジェクト」
 長崎純心大学 Green Pieces
 「Peace Forum」

部会活動

平和意識の啓発・高揚を図るために、会員で組織する4部会が自主的な活動を行った。

継承部会 44人 国際交流部会 27人
 写真資料調査部会 9人 音楽部会 18人

平和活動支援、秋月グラント

協会の活動趣旨と合致する活動に対して共催・後援及び助成を行った。

語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業 新

被爆者の体験や思いを語り継ぐ「家族・交流証言者」の育成を支援した。長崎市内の他、国の支援事業として追悼平和祈念館が長崎市外（海外含む）へ派遣し、活動した。



登録者数 83人 (うち講話可能者延べ38人)
 実施回数 164回 (祈念館派遣分を含む)

青少年ピースフォーラム 新

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、青少年ピースボランティアなど長崎の青少年と一緒に原爆や平和について学習し、交流することで、平和意識の高揚を図った。



実施日 8月8～9日

青少年ピースボランティア育成事業 新

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動した。毎月の学習会の他、鹿児島県や広島県での研修も行った。



登録者数 163人
 (高校生62人、大学生78人、専門学校生・社会人等23人)

青少年平和交流（少年平和と友情の翼） 新

長崎市内の中学生30人を沖縄県に派遣し、沖縄の戦跡や関連施設の見学、那覇市の中学生との交流など、「学び、伝える」研修を行った。



実施日 8月16～18日

収益事業 経常費用 12,071,592円 8月31日で原爆資料館売店での販売終了

自主財源を確保するため、原爆に関する書籍やオリジナルグッズ等を販売した。指定管理者制度導入に伴い、原爆資料館売店での販売を終了し、9月からは委託契約での販売となった。また、協会ホームページでのオンライン販売にも力を入れた。令和元年度は1,745,342円を平和推進事業等へ繰り入れ、収益事業の目的を果たした。

その他管理運営に係る費用 経常費用 2,910,423円

社会保険労務士、税理士等の専門家から助言を受けて、法人運営を的確に運営するとともに、法人の理事会、評議員会、各種委員会等を開催した。



新型コロナウイルス感染症の拡大と (公財)長崎平和推進協会の取り組み



令和2年1月16日、日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されました。それ以降、少しずつ感染者が増加し、2月13日には国内初の死者も出るなど、感染が拡大し始めました。

2月26日には、政府より「文化イベント等の中止、延期または規模縮小等の対応」が要請され、その後、不要不急の外出自粛、施設等の使用制限などが求められるようになりました。

長崎県内では、3月14日に苓岐市で初めての感染者が、4月15日には長崎市内で1例目が確認され、6月1日までに17人が感染しています。当協会では、このような状況を鑑み、2月29日より追悼平和祈念館の臨時休館、平和案内人の長崎原爆資料館の常駐ガイド中止、第7期平和案内人育成講座の一部延期などの対応を行いました。追悼平和祈念館の長期休館は、平成15年7月の開館以来、初めてのことで、

継承部会員による被爆体験講話は、2月中旬の実施予定分より中止や延期の連絡が相次ぎ、4月の役員会で7月末までの講話中止が決定しました。3月に予定していた市民対象碑めぐり（継承部会・原爆遺跡研究班）や朗読会「9日を忘れない」（永遠の会）、定期講話（家族・交流証言者）など、開催を予定していた行事等も全てが中止となりました。

4月7日、東京都や大阪府、福岡県など7都府県を対象に「緊急事態宣言」が発令され、16日には全国に拡大されました。5月4日には5月末までの宣言延長が決定しましたが、その後の感染者数減少を受け、5月14日には長崎県を含む39県で、21日に関西3府県、25日に残りの5都道県で緊急事態宣言が解除されました。

これを受け、当協会では6月1日、約3か月ぶりに追悼平和祈念館が開館しました。また、平和案内人は碑めぐりガイドを、家族・交流証言者は県内派遣や定期講話の活動を再開しました。

様々な感染防止策に取り組みながら、少しずつ「新しい日常」が始まっています。

【協会の動き】

- 2月中旬 被爆体験講話の中止・延期の連絡が入り始める
- 2月29日～ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 臨時休館
平和案内人の原爆資料館常駐ガイドの活動中止 ※以降、碑めぐり・予約ガイドも中止
第7期 平和案内人育成講座（第13～15回）延期
- 3月8日 市民対象碑めぐり（継承部会主催）中止
- 9日 朗読会「9日を忘れない」（永遠の会）中止 ※以降、8月中旬まで中止
- 12日 定期講話（家族・交流証言者）中止 ※以降、5月末まで中止
- 13日 「国際交流の夕べ」（国際交流部会）中止 ※以降、活動休止中
- 14日 青少年ピースボランティア学習会 中止 ※以降、5月末まで中止
- 15日 アジア青年平和交流事業 成果報告会 中止（報告書提出に切替）
- 26日 被爆者健康講話（第10回）中止
- 4月3日 被爆体験講話（継承部会）の7月末までの中止決定
- 6月1日 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 開館
平和案内人による碑めぐりガイド 再開
家族・交流証言者の県内派遣・定期講話 再開

理事長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、長期間にわたって不自由な生活をお過ごしだったと思います。

当協会でも、ほとんどの事業を中止や延期するなど、これまでにない対応となりました。

5月14日に長崎県が緊急事態宣言措置の対象地域から解除されるとともに、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が改定されました。

当協会では今後、この対処方針の感染防止策に取り組みながら、被爆体験講話の実施、平和案内人の派遣、家族・交流証言者による講話、永遠の会の朗読などを再開いたします。

皆さま方には何かとご不便をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(公財) 長崎平和推進協会
理事長 横瀬 昭幸



追悼平和祈念館での 感染防止対応策

追悼平和祈念館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月29日より臨時休館を続けていましたが、全国の緊急事態宣言の解除を受け、6月1日に開館しました。

開館にあたり、皆様に安心して見学していただけるよう、感染を予防する対応を行います。

【対応策（一部）】

- ・入館時には体温測定をさせていただきます、37.5℃以上ある方は入館できません
- ・出入口を水盤と地下1階からの2か所とし、一方通行の動線に沿って入館していただきます
- ・入館時には手指の消毒を行い、館内ではマスクの着用をお願いいたします
- ・一部エリア、設備等の利用を休止いたします

皆様のご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。



新たに選任された 理事・監事・評議員のご紹介

【理事】

岩永 洋一 (日本労働組合総連合会
長崎県連合会 副事務局長)

篠崎 桂子 (長崎原爆資料館 館長)

調 漸 (長崎大学 副学長
核兵器廃絶長崎連絡協議会 会長)

種田 和彦 (一社・長崎青年会議所 事務局長)

朝長万左男 (長崎県被爆者手帳友の会 会長)

【監事】

今田 拓郎 (一社・長崎青年協会 幹事)

【評議員】

大矢 正人 (長崎の証言の会 運営委員)

神崎 真一 (毎日新聞社長崎支局 支局長)

紀伊 義孝 (株・長崎国際テレビ報道制作局
次長兼報道部長)

北野健一郎 (長崎市老人クラブ連合会 会長)

久保 純一 (長崎県私立中学高等学校協会
長崎女子商業高等学校 校長)

小西 慶幸 (読売新聞長崎支局 支局長)

小柳 勝彦 (長崎県公立高等学校校長会
長崎市立長崎商業高等学校 校長)

松崎 邦彦 (長崎市小学校校長会
長崎市立横尾小学校 校長)

吉原 幹男 (長崎市中学校校長会
長崎市立淵中学校 校長)

吉原 幹男 (長崎市立淵中学校 校長)

吉原 幹男 (長崎市立淵中学校 校長)

吉原 幹男 (長崎市立淵中学校 校長)

吉原 幹男 (長崎市立淵中学校 校長)

被爆75年 平和関連行事のご紹介（主催・共催・関連事業）

原爆が投下されてから、今年で75年を迎えます。

様々な記念行事が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止や一部縮小しての開催となります。お出かけの際には、開催状況等を必ずご確認ください。

長崎平和音楽祭 vol.35

日時：7月25日(土) 14時00分~16時00分
場所：原爆資料館 ホール
入場料：一般1,000円 中高生500円
主催：平和音楽祭実行委員会
共催：長崎平和推進協会
平和音楽祭事務局 ☎095-823-9373

平和案内人による 原爆資料館・追悼平和祈念館ガイド

期間：8月7日(金)~9日(日)
9時00分~20時00分
受付：原爆資料館 正面入口「ガイド受付」
主催：長崎平和推進協会
長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

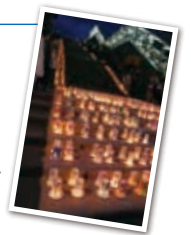


原爆写真展 「パノラマで見る被爆後の長崎」

日時：7月31日(金)~8月11日(火)
8時45分~18時30分
※31日(初日)は13時00分から
11日(最終日)は15時00分まで
場所：追悼平和祈念館 交流ラウンジ
主催：写真資料調査部会（長崎平和推進協会）
すべてが燃え尽きた町のありさまを、様々な視野からのパノラマ写真で紹介します。
長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

平和の灯（ともしび）

日時：8月8日(土) 19時00分~20時00分
場所：平和公園（平和の泉）
主催：平和の灯実行委員会
平和への願いを込めた手作りのキャンドル
約5,000本に点灯します。



原爆資料館・追悼平和祈念館の 開館時間延長

期間：8月7日(金)~9日(日)
時間：8時30分~20時00分



原爆資料館・永井隆記念館の無料開放

日時：8月9日(日)
原爆資料館 8時30分~20時00分
永井隆記念館 9時00分~17時00分

★青少年ピースフォーラム、永遠の会による常駐朗読は中止となりました。
また今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、変更や中止となる可能性があります。

被爆75年 体験継承への取り組み

当協会では、継承部会員（被爆者）による被爆体験講話、平和案内人による原爆資料館や被爆建造物等の案内など、被爆の実相を次世代へ継承する活動を進めています。その活動をご紹介します。

被爆体験講話

継承部会員（被爆者）が、自らの被爆体験や当時見たまちの状況、平和の尊さなどをお話しします。



平和案内人

原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等を、来館者や小中高生などにご案内します。



被爆体験を語り継ぐ とわ永遠の会

被爆体験記等を朗読することで、被爆の実相や平和への願いを伝えます。



家族・交流証言者

次世代の証言者として、被爆者から直接被爆体験を聞き取り、その体験や平和への思いをお話しします。



被爆75周年記念～女優たちの原爆朗読劇

「夏の雲は忘れない」2020 特別編 in NAGASAKI 観覧者募集！

「平和への祈りを込めた言葉を語り継ぎたい」をいう女優たちの思いから、原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」が日本全国で公演されてきました。

昨年、活動の幕を下ろしましたが、被爆75年となる今年、長崎市で公演いたします。

出演女優：渡辺美佐子、高田敏江、長内美那子、池田舞

※長崎の子どもも出演します

日時：8月30日（日）13:00～14:15（12:30開場 13:00開演）

場所：長崎原爆資料館ホール（長崎市平野町7-8）

入場料：無料（往復はがきによる応募が必要です）

応募方法：往復はがきの往信面に①郵便番号、②住所、③氏名（フリガナ）、④電話番号、返信の宛名面に返信用の宛名をご記入の上、下記までお申し込みください。

〒852-8117 長崎市平野町7-8（公財）長崎平和推進協会「講演会」係

●往復はがき1枚につき、1人の応募となります

●協会会員に限り、往復はがき1枚で2人まで応募できます。

会員の方は **会員** と朱書きし、希望人数（1人または2人）をお書きください

応募締切：8月14日（金）当日消印有効

●応募者多数の場合は会員優先の上、抽選となります

ご来館の際は、必ずマスクをご着用ください



渡辺美佐子



高田敏江



長内美那子



池田舞

往信面

（返信面裏）

63円	852-8117 長崎平和推進協会「講演会」係	長崎平和推進協会「講演会」係
-----	----------------------------	----------------

返信面

（往信面裏）

63円	000-0000 あなたのお名前	①郵便番号 ②住所 ③氏名（フリガナ） ④電話番号 あなたのご住所
-----	---------------------	---

企画募集！

アジア青年平和交流事業「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」

当協会では、若者の皆さんが企画し運営する事業を支援する「アジア青年平和交流事業」を行っています。今年も「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」をテーマに、企画を募集いたします。

皆様からのご応募をお待ちしております。詳しくは、当協会ホームページをご確認ください。

「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」

募集期間 6月1日（月）～8月31日（月） ※最終日までに必着

募集対象 長崎県内の高校、専門学校、大学、大学院の生徒・学生

長崎平和推進協会 URL <https://www.peace-wing-n.or.jp>



No. 13



お便りをお寄せください！

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp
〒852-8117 長崎市平野町7-8
長崎平和推進協会「会員の広場」係

私は被爆当時6歳、国民学校の1年生でした。夜、空襲警報の不気味なサイレンが鳴ると、暗い中、家を出て近くの山や防空壕へ逃げます。それも叶わぬ人は近くの竹藪へ隠れます。

私は坂本町の暖竹の茂みへ逃げ込みました。身軽な人は逸早く敷へ駆け込みますが、赤ん坊を抱いたお母さん達は遅れて来ます。赤ん坊が泣き声をあげると、先に来ていた人の中から「泣かすんな！」「あっちに行け！」と叱責の声がかかります。何故そんな酷い事を言うのかというところ、泣き声が上空の敵機に聞かれたら、此処を目掛けて攻撃されると心配したのでしょうか。

自分たちだけは生き延びたいと思う哀しい時代でした。あんな時代は二度と繰り返してはなりません。

池田道明



Peace Wing Nagasaki
会員の広場



被爆体験を後世に語り継ぐ「家族・交流証言」推進事業交流会参加者を大募集します

被爆体験を受け継ぎ語ってくださる方、被爆体験を託したい被爆者の方を募集します。この事業では、受け継ぐ方が被爆体験を聞き取り、原稿作成をする際の支援や、講話に必要な研修等を行います。これまで被爆者と接する機会が少なかった方、ご自身で体験を語ったことがない被爆者の方も、お気軽にお問い合わせください。

9月に開催する交流会では、受け継ぐ方、託したい方が交流し、お話しする会です。ぜひ、ご参加ください。

【交流会】

日時：9月19日（土）、9月20日（日）14:00～16:30

※1日のみの参加も可能です

※20日午前には、希望者を対象に、原爆資料館の見学を行います。

場所：原爆資料館 平和学習室

応募方法：当協会HPにある申込書に必要な事項をご記入の上、郵便・FAX・メール等でお送りください。

募集締切：8月28日（金）必着



問い合わせ先：長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

青少年ピースボランティア 参加者募集

被爆の実相や戦争について学び、さまざまな視点から平和について考え、行動する「青少年ピースボランティア」では、年間を通じて参加者を募集しています。



被爆建造物等の案内、平和祈念式典でのボランティア、自主企画学習などを行うため、月1～2回程度の土曜または日曜に、原爆資料館等で学習会を行っています。

長崎の被爆の実相や平和の大切さについて学び、発信するボランティアとして活動してみませんか？ご興味のある方は、当協会までお問い合わせください。

対象：15歳以上 30歳未満（中学生を除く）

問い合わせ先：長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

原爆死没者の遺影・氏名登録及び 体験記募集

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館では、原爆で亡くなった方のご遺影やお名前の登録（原則遺族の方から）を募集しています。お寄せいただいたご遺影やお名前は、長崎・広島両祈念館で公開いたします。また、被爆の実相を後世に伝えるために、被爆体験記も募集しております。皆様のご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：追悼平和祈念館 ☎095-814-0055

協会公式 Instagram を開設しました

協会の活動や長崎の様子を紹介することを目的に、Instagram を始めました。「@peace_wing0809」でご検索いただくか、右のQRコードをご利用ください。皆様からのフォロー、お待ちしております。



※7月に長崎県内で予定されていた映画「祈り」の先行上映は、9月に延期となりました。

世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	中国	フランス	英国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2019年6月1日	～6,500	～6,185	290	300	215	～150	～130	80	20～30	～13,880
2020年6月1日	～6,370	～5,800	320	290	195	～160	～150	80～90	～35	～13,410

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

会員数報告

- ◎維持会員 1,019名
 - ◎賛助会員 153名
 - ◎学生会員 12名
- 令和2年6月22日現在

寄附者紹介

- ◎緒方 操 (敬称略) 一万円
- ◎山中弘幸 一万円
- ◎匿名(2件) 五千円

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。今年度まだ会費を納めていない方、何卒趣意をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

お支払いただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。か、事務局までご連絡ください。